2022年卒就職活動の振り返り（学生）

学生の進路決定状況や、活動プロセスごとの行動量、活動時期は？

第1志望群に入社する学生が増加

ここからは、2022年卒学生の就職活動を振り返る。民間企業等を対象に就職活動を行った学生のうち、2021年11月時点で民間・民間以外を問わず就職先が確定している学生は86.9%（グラフ❶）。2021年卒（87.2%）と同水準だった。そのうち、「民間企業に就職する」ことが確定したのは81.0%で、こちらも前年（80.0%）と同水準だった。

就職先が確定している学生のうち、当初からの第1志望群に入社予定の学生は55.8%で、前年（50.5%）から5.3ポイント増加（グラフ❷）。2020年卒（52.8%）と比較しても3.0ポイント高い。2021年卒においては、コロナ禍に入り急きょ採用計画を変更した企業が例年より多く見られたため、学生も志望する企業群に決まりづらかった面があるが、2022年卒においては採用環境をふまえて志望先を選べたことも影響していると考えられる。

1社以上内定を取得した学生の平均取得社数は2.46社（データ❸）。前年（2.17社）から微増し、コロナ禍前の2020年卒を上回った。

就職活動を終了した学生にその理由を聞いたところ、「内定を取得した企業等に入社したいと思った」が87.1%で最も高い（グラフ❹）。一方、「できるだけ早く内定を取得し、就職活動をやめたかった」という学生が27.8%だった。活動期間がコロナ禍前の2020年卒に比べて約1カ月長くなっていることや（P8・データ❷）、入社予定企業の内定取得時期が活動開始時期にかかわらず「卒業年次6月」が最多となっていることから（P8・表❸）、活動の長期化やそれに伴う学生の負担増が懸念される。

オンラインの活動量が上昇

活動プロセスごとの実施率・実施数を2021年卒と比較すると、全体的な実施率は減少傾向だが、オンラインの活動は活発化した（表❺）。2021年卒に比べて実施率が上昇したのは、「個別企業等の説明会・セミナー（Web）」（前年卒差＋13.3ポイント）、「面接選考（Web）」（同＋3.4ポイント）、「プレエントリーをする」（同＋1.1ポイント）、「選考のための動画を提出する」（同＋1.0ポイント）の4項目。実施平均数は、「個別企業等の説明会・セミナー（対面）」、「面接選考（対面）」を除いた11項目が上昇した。特に「個別企業等の説明会・セミナー（Web）」は6.37社、「面接（Web）」も1.87社増加し、オンラインによる効率化を背景に活動量が上昇していることが分かる。

就職先が確定した学生に、「合同説明会・セミナー」「個別企業等の説明会・セミナー」「面接選考」におけるWeb・対面での実施経験を聞いたところ、いずれも「Webのみ実施」「Web・対面どちらも実施」の合計が9割を超えた（P12・表❶）。学生にとって企業とオンラインでコミュニケーションをとることは当たり前になっていることが分かる。

選考は全てオンライン。予定を組みやすかった

●IT企業内定・商学部4年

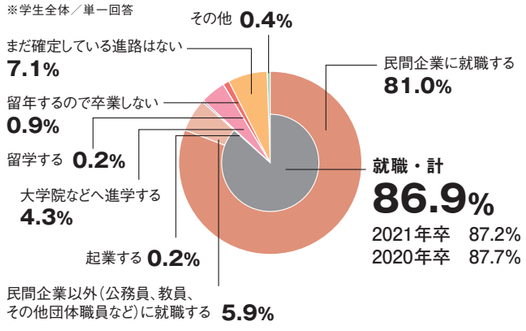
アルバイト感覚でしていた報酬付き長期インターンシップで業務自動化に取り組んだことから、学んだ技術をすぐにシステムという形にできることにひかれてIT業界を志望。Web説明会を30社ほど、また、企業の公式情報以外に外部の人が各社の年収や働き方などを解説するYouTubeを視聴して、給料が良く、転職時に強みになるスキルがつくと感じた企業10社に応募しました。

説明会・選考はほぼオンラインで、外出したのは適性検査の1回だけ。予定を組みやすく楽でした。社員の方が働く様子などはインターネットで検索して調べるしかありませんでしたが、ほかの学生も同じ状況なので仕方ありません。また、Web説明会は倍速にできて、夜にも見られるオンデマンドのものを中心に視聴。活躍している社員の特徴や求める人材像に注目し、自分のどの経験を面接で伝えるか検討しました。他方で、YouTubeは企業の実情を知るツールとして活用。ただし、実態を判別しづらい情報もあるので、主観的な意見以上に業務内容やサービス・製品の特徴など客観的な情報を参照するようにしていました。

学生 約9割が、就職先を確定

❶ 卒業後の進路確定状況（2021年11月時点）

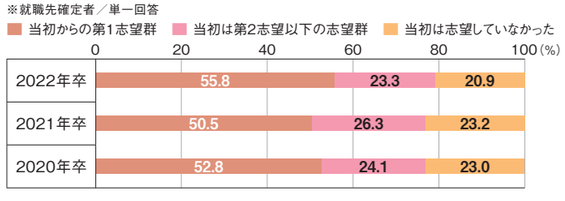
※学生全体／単一回答



学生 半数以上が、当初の第1志望群に入社予定

❷ 入社予定企業等への就職活動開始当初の志望度

※就職先確定者／単一回答



学生 平均2.46社から内定を取得

❸ 内定を取得した企業数

※該当卒年の前年11月時点で内定を取得している学生／実数回答

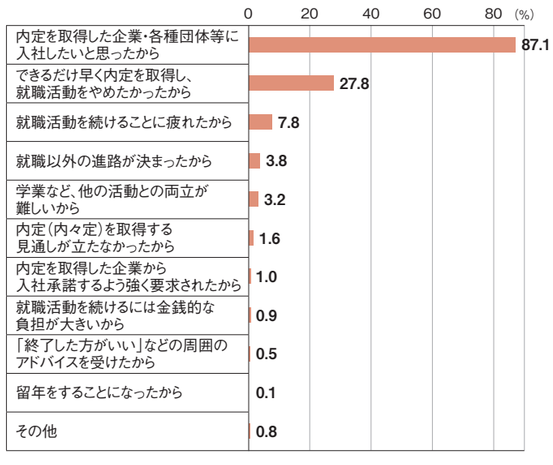
2022年卒 **2.46社**

2021年卒 2.17社
2020年卒 2.35社

学生 約3割が、早く活動を終えたいという理由で就職活動を終了

❹ 就職活動を終了した理由

※就職活動終了者／複数回答



学生 全体的な実施率は減少傾向だが、オンラインの活動は上昇

❺ 就職活動プロセスごとの実施状況

※実施率：学生全体／それぞれ単一回答、平均数の対象：各プロセスを実施した学生／実数回答
※（　）内の数値は2021年卒との差（ポイント）

2022年卒／2021年卒		実施率（%） n=2868	実施率（%） n=2111	平均数（実施者ベース） ①2022年卒		平均数（実施者ベース） ②2021年卒		平均数（実施者ベース） ①－②
就職に関する情報を収集する		83.6	（－3.2）					
OB・OGなど社会人の先輩を訪問する		15.5	（－1.6）	n=444	3.13 社 4.28 人	n=362	2.74 社 4.12 人	0.39 社 0.16 人
リクルーターと接触する		19.0	（－2.0）	n=544	4.05 社 5.37 人	n=444	3.08 社 4.76 人	0.97 社 0.61 人
プレエントリー（企業・各種団体等への個人情報提供）をする		46.4	（1.1）	n=1330	29.74 社	n=956	27.54 社	2.20 社
合同説明会・セミナー	対面で開催されるものに参加する　※1	32.6		n=935	5.54 回			
	Webで開催されるものに参加する　※1	49.8		n=1428	11.20 回			
個別企業・各種団体等の説明会・セミナー	対面（社内、会場など）で開催されるものに参加する	28.9	（－5.8）	n=828	6.28 社	n=732	7.80 社	－1.52 社
	Webで開催されるものに参加する	42.9	（13.3）	n=1230	16.43 社	n=624	10.06 社	6.37 社
エントリーシートなどの書類を提出する		57.6	（－4.3）	n=1652	17.33 社	n=1306	14.75 社	2.58 社
選考のための動画を提出する		23.0	（1.0）	n=658	5.95 社	n=463	2.82 社	3.13 社
適性検査・筆記試験を受ける		53.7	（－4.8）	n=1540	11.30 社	n=1235	9.83 社	1.47 社
面接選考	対面での面接選考を受ける	48.9	（－8.2）	n=1403	4.70 社	n=1206	4.84 社	－0.14 社
	Web上での面接選考を受ける	54.3	（3.4）	n=1559	9.10 社	n=1075	7.23 社	1.87 社
内々定・内定を取得する		85.1	（－1.2）	n=2441	2.46 社	n=1821	2.17 社	0.29 社

※1　2022年卒調査より聴取

活動開始時期は前倒し傾向

次に、活動時期・期間について見る。就職活動を終了した学生に就職活動の開始時期を聞いたところ、最も多かったのは、卒業年次前年の「6月以前」で27.0％（グラフ❶）。前年（26.1％）と同水準で、2020年卒（17.9％）からは9.1ポイント増加した。また、卒業年次前年の9月までの累計は44.0％で、前年（44.6％）と同水準、2020年卒（30.3％）からは13.7ポイント増加した。2021年卒以降、活動開始時期の前倒し傾向が続いている。

一方で、6ページで触れたように、就職先が確定した学生に入社予定先からの内定取得時期を聞いたところ、就職活動を開始した時期にかかわらず「卒業年次6月」が最も高い割合であった（表❸）。ただし、5月までの累計を見ると、「卒業年次前年9月以前」に開始した学生が5月までに入社予定先から内定した割合は51.2％で、「卒業年次前年3月以降」に開始した学生（15.5％）を35.7ポイント上回った。

実質就職活動期間の平均は7.6カ月で、前年（7.8カ月）と同水準だが、コロナ禍前の2020年卒（6.4カ月）に比べると、1.2カ月長い（データ❷）。また、インターンシップに参加経験のある学生は8.3カ月、参加経験のない学生は6.2カ月と、参加経験の有無によって約2カ月の差があった。前年はコロナ禍の影響で採用活動が後ろ倒しになったが、2022年卒の採用活動の進捗は例年並みに戻っていることからも、さらなる早期化・長期化への影響も見受けられる。

また、応募した企業の採用活動の方法・形態について聞いたところ（P9・グラフ❺）、最も多かったのは「誰でもエントリー可能な採用」で、80.4％と、2021年卒と同水準だった。一方、2021年卒に比べて大きく伸びたのが、「インターンシップからの採用」（前年卒差＋11.0ポイント）と「逆求人など、スカウト型の採用」（同＋4.5ポイント）であった。いずれも、早期に企業と学生が出合うことのできる方法であり、早期化の一因になっている可能性がある。

活動開始時期による働く意欲の差はない

就職活動の早期化・長期化が進んでいるが、就職活動に際して、学生の働く意欲は伴っているだろうか。学生に就職活動開始時点での働く意欲を聞き、就職活動を開始した時期を卒業年次前年の「9月以前」「10月～2月」「3月以降」に分けて比較した（グラフ❹）。

働く意欲が「十分」「どちらかというと十分」を合わせた「十分・計」の割合が最も高かったのは、「9月以前」で、62.3％。次が「10月～2月」で59.5％。「3月以降」は56.0％と最も低かった。ただし、「9月以前」と「3月以降」の差は約6ポイントと極端に大きな差は見られなかった。また、「どちらかというと不十分」「不十分」を合わせた「不十分・計」は、開始時期にかかわらず15％前後と、働く意欲が醸成されないまま活動を開始する学生が一定数存在することがうかがえる。

3年生9月のインターンシップから1年間活動

●テレビ制作会社内定・文系学部4年

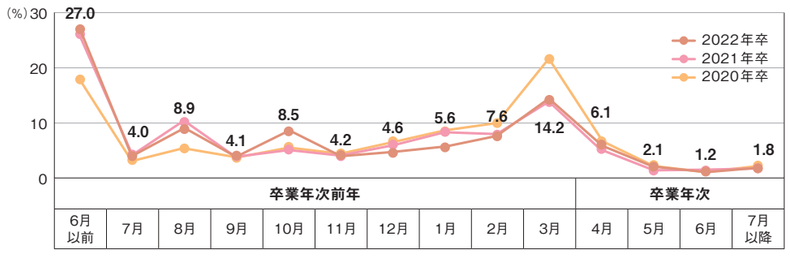
学んでいた英語を使えそうな旅行会社と、自分の考えを発信できる仕事としてマスコミに興味があったので、学部3年9月から冬にかけて旅行、テレビ制作、新聞、出版など7社のインターンシップに参加。それぞれの現場や仕事内容を知ったことで、自分の意見も取り入れてもらえる中小規模の企業でテレビ制作に携わりたいと志望が固まりました。

しかし、選考がなかなか通らず、応募業種を広告・人材系にも広げて最終的には21社に応募。途中、人材業界の1社に内定しましたがテレビ制作会社を諦められず、3週間の教育実習を挟みながら応募・選考参加を続けました。そうして4年生の9月に、取り組みたいと思っていた情報・報道分野の番組制作に特化していて、説明会や選考で大変さもやりがいも包み隠さず話してくれた企業に内定。納得できる企業に決まってよかったです。

どの企業も、選考はオンライン中心だったので、住んでいる西日本から東京に毎回行かなくて済み、体力面も費用面も助かりました。20社以上受けられたのも、オンライン中心だからこそでした。

学生 44%が、卒業年次前年の9月以前に活動を開始

❶ 就職活動の開始時期　※就職活動終了者／実数回答



学生 実質活動期間は平均7.6カ月

❷ 実質活動期間の平均

※就職活動終了者／実数回答

2022年卒
7.6カ月
2021年卒　7.8カ月
2020年卒　6.4カ月
2019年卒　6.2カ月

学生 入社予定先からの内定取得時期は、活動開始時期にかかわらず6月がピーク

❸ 就職活動開始時期別　入社予定企業等からの内定取得時期

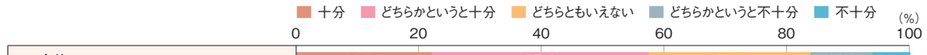
※学生全体：就職先確定者のうち内定取得者／実数回答、就職活動開始時期別：就職先確定者のうち内定取得者かつ就職活動終了者／実数回答

(%)

		n	卒業年次前年							卒業年次							2月までの累計	5月までの累計
			9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降		
全体		2337	1.8	0.3	0.5	0.6	0.9	2.2	6.3	12.1	13.0	19.0	12.4	12.2	9.0	9.7	6.3	37.7
就職活動開始時期別	卒業年次前年9月以前	978	3.6	0.6	1.0	1.3	1.9	4.0	10.3	15.8	12.7	19.0	9.1	10.6	5.6	4.5	12.4	51.2
	卒業年次前年10月～2月	706	0.3	－	0.2	0.3	0.4	1.6	6.5	13.2	16.7	20.9	14.5	11.2	7.2	6.9	2.8	39.3
	卒業年次前年3月以降	550	－	0.3	－	－	－	－	－	5.4	9.9	17.7	16.1	15.8	15.6	19.3	0.3	15.5

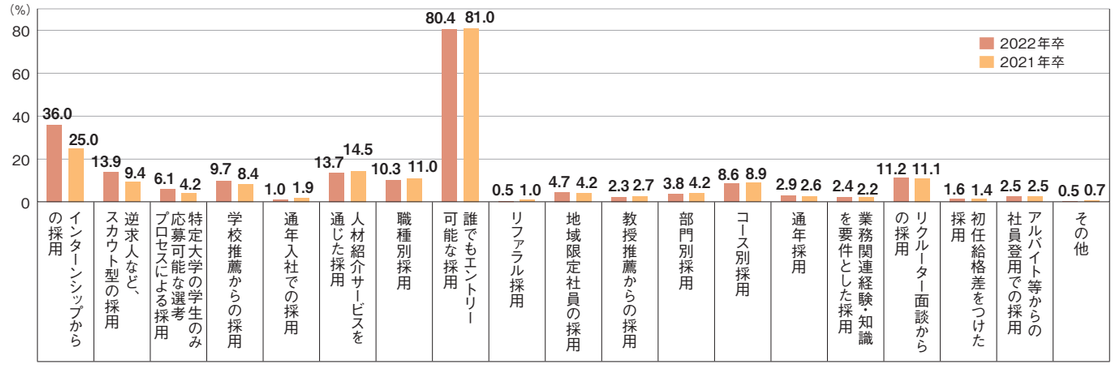
学生 働く意欲について、就職活動開始時期の違いによる大きな差はない

❹ 就職活動の開始時期別の就職活動開始時点での働く意欲　※全体：学生全体／単一回答、時期別：就職活動終了者／単一回答



		十分	どちらかというと十分	どちらともいえない	どちらかというと不十分	不十分	十分・計	不十分・計
全体		22.1	35.4	26.5	10.0	6.1	57.4%	16.1%
就職活動開始時期別	卒業年次前年9月以前	25.8	36.5	24.5	8.6	4.6	62.3%	13.2%
	卒業年次前年10月～2月	19.3	40.2	25.6	10.2	4.8	59.5%	14.9%
	卒業年次前年3月以降	22.3	33.7	26.8	10.4	6.8	56.0%	17.1%

学生 応募企業の採用方法として、「インターンシップからの採用」「逆求人など、スカウト型の採用」などが前年より増加

❺ 応募した（応募する予定）企業の採用活動の方法・形態

※学生全体／複数回答　※「その他」を除き前年差（絶対値）の大きい順
※小数点第2位で四捨五入し%表示しており差の数値と計算値が異なる項目がある